



岩田とも子

県議会レポート



発行所 / 〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先 / 立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
HP : <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

NO.
44

2月定例会報告

2月定例県議会は、2月17日から3月18日までの31日間の日程で開催されました。主な議題は、2025年度2月補正予算(先議)と、2026年度当初予算(後議)の審議です。

2025年度の2月補正予算は一般会計で98億円の増額となり、最終的な予算総額は1兆107億円となりました。一方、2026年度当初予算は、事業のスクラップ・アンド・ビルドにより約10億円の削減効果を図ったものの、過去最大の9,353億円となりました。なお、予算成立後には「くまもと型小規模事業者持続化補助金」への申請が相次いだため、約30億円の増額補正が専決処分されました。これにより、現在の予算規模は1兆132億9,700万円となり、すでに1兆円の大台を超えています。

予算の主な内容

【災害からの復旧・復興】

- 1.熊本地震からの創造的復興:空港アクセス鉄道事業の許可に向けた取り組みの本格化。
- 2.令和2年7月豪雨災害からの創造的復興:くま川鉄道の全線運行再開支援、人吉・球磨地域の振興。

- 3.令和7年8月豪雨からの復旧・復興:農地・農業用施設や公共土木施設の早期復旧、いぐさ産地の支援。
- 4.大規模災害への備えの強化:「防災」と「消防」業務の一体的な運用のため、知事公室に「危機管理防災局」を新設。

【くまもと新時代共創総合戦略の推進】

- 1.人材の育成・確保:こども家庭ソーシャルワーカーの資格取得推進、農業の担い手確保、外国人材の受入体制整備。
- 2.次世代の育成:読み解く力を測る「リーディングテスト」の実施、各教育事務所への「学校経営アドバイザー」配置、高校生ボランティアによる「放課後子ども教室」の活性化。
- 3.共生社会の推進:多文化共生の実現、障がい者本人と家族を含めた一体的な支援強化。
- 4.基盤整備・産業支援:中九州横断道路の整備、畜産営農支援、渋滞解消、観光と文化芸術の振興、天草でのサイクリング環境整備。
- 5.その他:緑の流域治水の推進、五木村・相良村の振興、水俣病問題への対応。

岩田とも子の代表質問

令和8年3月4日

1

水俣病公式確認から70年 :完全解決への取り組み

質問

5月1日の水俣病慰霊式は、公式確認70年の節目。市主催ですが、県の関わり方や知事の出席にあたっての所感を問いました。また、環境省の健康調査が解決に向かっているか、知事の見解を伺いたい。

知事答弁

70年の節目、しっかりと時間を確保し声を丁寧に伺う。健康調査は国に早期実現を要請しており、客観性と納得性を注視する。啓発イベント開催や教訓継承の1年にしたい。

【岩田コメント】

70年経っても未解決である事実を重く受け止めてください。声を聞くだけでなく、それに応える責務があります。

2

川辺川ダム建設にかかる 県の負担

質問

国の直轄事業ですが、河川法等に基づく試算では県の実質負担率は13.75%(約674億円)。資材高騰等でさらに増える懸念もあります。費用対効果や負担額への疑問に知事の考えを問う。

知事答弁

新たな流水型ダムは重要事業であり、応分の負担は必要かつ適切。着実に「緑の流域治水」を推進する。

【岩田コメント】

到底引き下がられません。丁寧に説明すると言ふなら、広告やSNSに頼らず、住民と直接対話すべきです。まだ検証が必要です。

3

熊本地震から10年 :防災の取り組み

質問

震災から10年。県民の防災意識の現状と、3倍に急増した外国人住民への啓発、またペットの同行避難に向けた市町村への働きかけについて伺いたい。

知事公室長答弁

アンケートでは9割が備えをしている。外国人向けマイタイムライン作成や、ペット同行避難訓練の実施などを市町村へ働きかけていく。

4

熊本の宝 :地下水を守る取り組み

質問

モニタリング委員会における「規制外物質」の議論が非公開である理由を質しました。また、JASM第2工場稼働に向け、北部浄化センターに排出される排水の仕様検討状況を問う。

部長答弁

規制外物質の検証は例がなく、未確定の調査結果や法人情報を含むため非公開とした。排水から窒素を除去する微生物の働きを活性化させる処理仕様を検討中。

【岩田コメント】

半導体の微細化が進めば、水・電力使用量や廃棄物は増えます。万全な環境保全対策を求めます。

5

困難な問題を抱える若年女性への支援

質問

県の実態調査で見えてきた課題に対し、困難な問題を抱える若年女性へどのような支援に取り組むのか問いました。

健康福祉部長答弁

民間団体と協働し、居場所の提供や、支援を待つのではなくこちらから出向く「アウトリーチ型」支援を推進する。

6

プレコンセプションケアとライフデザイン支援

質問

来年度予算の「ライフデザイン支援(約2,600万円)」の意図と、現行のプレコンセプションケア事業との関連性、今後の方針を伺いたい。

健康福祉部長答弁

自分の体や健康、性に関する知識を得て、自らの人生を前向きに選択していけるよう、情報発信を強化する。

7

アウトバウンド(海外渡航)の推進

質問

多文化理解のため、パスポート取得支援などアウトバウンドへの具体的施策について伺いたい。また、子どもや教員の国際的資質向上への現状と今後について問う。

部長・教育長答弁

空港利用者の日本人比率は低く、パスポート取得促進に取り組む。今年度は県立高校4校が海外修学旅行を実施。今後、教員30名を台湾研修へ派遣する。

8

デジタル技術を活用した県庁の業務改革

質問

デジタル化による職員の負担軽減の進捗や、外部委託頼みではない「内製化」、専門人材の任用について伺いたい。

理事答弁

庁内業務改革(BPR)の推進体制をさらに強化し、業務効率化を図っていく。

9

健軍駐屯地の火薬庫建て替え計画と住民の安全確保

質問

ミサイル配備や火薬庫建て替えについて県の把握状況を問う。住民説明会の開催と事故・火災時の避難対策はどうなっているのか。

知事公室長答弁

国に丁寧な対応を申し入れる。火薬庫建て替えは老朽化対策と聞いている。(※その後、3月9日深夜搬入、31日配備済)

【岩田コメント】

住民への説明がないまま、なし崩し的に配備が進むことは容認できません。

詳しくは熊本県議会ホームページの録画をご覧ください。



岩田とも子の政治活動



台湾の環境団体とのzoom会議 台湾TSMCの2ナノ工場に使用される水量、電力、廃棄物などについて情報を交換しました。JASM第2工場は3ナノの工場の予定なので、大切な情報です。



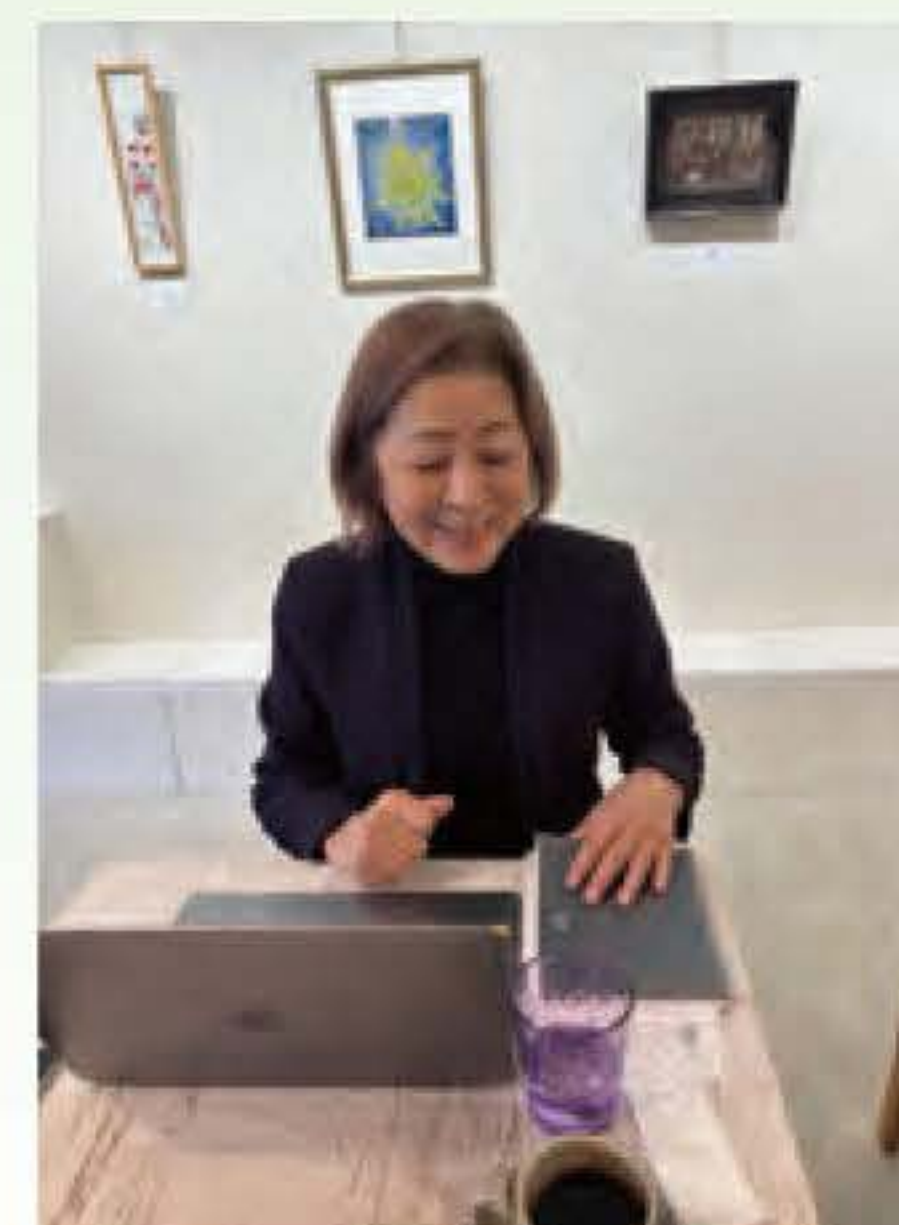
UAゼンセンの委員長と県知事へ賃金や待遇、カスタマーハラスメントなどについて要請を行いました。



パレアでの年2回の県政報告会を2月に開催。



中央区での報告会は毎月開催しています。2月は熊大の伊藤洋典先生から「地方自治法」について勉強させていただきました。



ミサイル配備説明会を求める署名活動



政治塾 くまもと女性議員の会



毎年恒例古町小学校の子どもたちとアジアアフリカ支援米をマリ共和国に送りました。



障害者の自立と政治参加を進めるネットワークの全国大会で、和歌山県田辺市に行きました。ユニバーサルデザインや市行政のデジタル化について学びました。

SNSやってます
フォローしてくださいね!

